

1.計画名称

茅野市・原村生活交通確保維持改善計画

2.計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	新型コロナウイルスの影響から、ほぼ全ての路線で利用者数が目標値を下回った。しかし、利用者数は徐々に持ち直しており、外出の機会の向上からバスを移動手段として活用する傾向がみられる。
今後の重点化 施策番号	1	説明	現行の路線バスを廃止し、その代替として、より利便性の高い「のらざあ」を軸とした地域公共交通へと移行していく。茅野市・原村生活交通確保維持改善計画を今後見直す中で、原村との連携の強化、また、観光地・別荘地の移動手段の検討など、計画的な面整備が今後必要となる。

3.各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	地域内公共交通の構築	おおむね順調	<p>バス交通の利用促進を図るため、利用者満足度調査、時刻表の作成等を行った。利用者数については、新型コロナウイルスの影響が出始める前の令和元年度と比較した場合7割強となっている。月によっては同程度の利用者数もあり、徐々に持ち直している傾向がみられる。</p>	<p>利用者数はコロナの影響前と比較して持ち直してきてはいるが、依然として低迷している。バス運行事業者は路線バスを運行する体力はなく、抜本的な経営改善に着手している。路線を維持するためのへの運行費補助金は9,000万を超え、市の財政負担は厳しい。これまでの路線バスを中心とした交通網は市民ニーズに合ったものとは言えず、市民に受け入れられる体系づくりの必要がある。</p>	<p>既存の日中生活路線バスは、穴山・原村線以外廃止し、より利便性の高い「のらざあ」に転換する。路線バスを中心としたこれまでの公共交通から、「のらざあ」を軸とした新しい地域公共交通への体制づくりを進める。</p>
2					
3					

※5つ以上の場合は裏面へ

4.関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

		主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			

5.添付資料

別紙「施策評価シート」